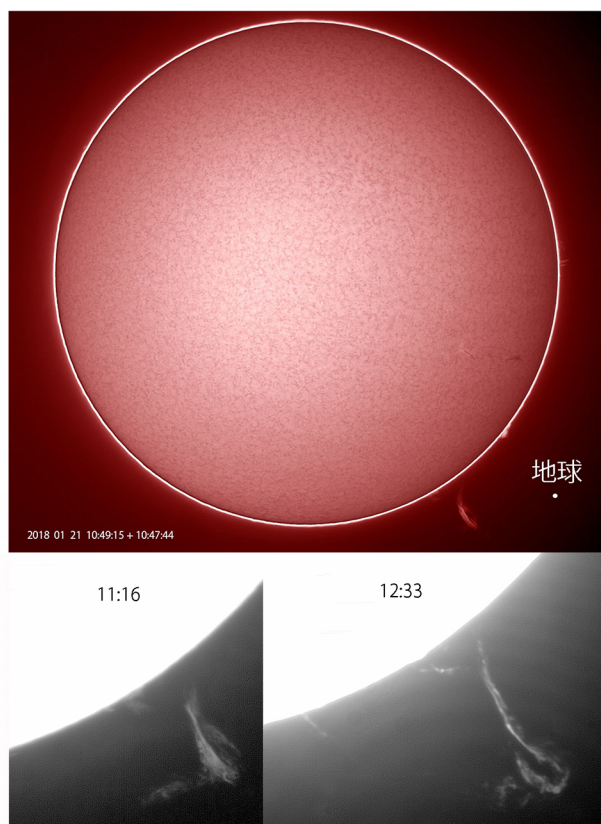


星屑

2018 年 4 月号

No. 517



2018年1月21日の太陽 大プロミネンス出現

2018 年 1 月 21 日の太陽

LUNT LS50THa 最近低調な太陽面に大きなプロミネンスが出ました

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

県民天文台の新しい望遠鏡

6月に導入の見込み

6月24日(日)、贈呈式を実施(計画中)

火星大接近など、今年の惑星観望の好機を前に新しい望遠鏡が稼働を開始!

望遠鏡の導入時期が決定

新しい望遠鏡の導入が遅れていますが、株式会社西村製作所やライオンズクラブ国際協会などと協議や検討を進め、西村製作所の社内でも設計と製造の見通しを再検討して頂いた結果、何とか6月中に設置を完了できる見込みが立ちました。

まだ、搬入の期日は決まっていますが、6月のできるだけ早い時期に搬入設置をする方向で進む見込みです。熊本ではちょうど梅雨入りの時期に当たります、雨天時を避けて搬入設置をしなければなりませんから、望遠鏡の完成から設置までにある程度の余裕が必要でしょう。

望遠鏡の贈呈式の開催日が決定

ライオンズクラブ国際協会では、上記のような進行状況を受けて、6月24日(日)に、新しい望遠鏡を熊本県民天文台に寄贈する「贈呈式」を開催すると決定されました。

詳しい内容や日程はこれから検討して決まります。

望遠鏡の操作習熟を

新しい望遠鏡は、最新型の制御システムによってコントロールされる見込みです。まだその詳細は分かっていませんが、制御操作のかなりの部分を観測室に設置されるパソコンから行うことになる予想されています。半分アナログ的なハンドコントローラーでの操作に慣れきっている方や、タブレットを使ったWiFiでのコントロールを楽しんできた方にとっては、少し様子が違うかも知れませんが、また、これまでの望遠鏡よりも数段高度な使い方ができるはずなので、どのような使い方ができるのか、実際に操作して経験を重ね、できるだけ早く習熟したいところです。

7/31 火星大接近!

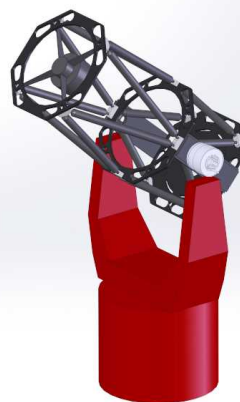
導入後の7/31(火)には15年ぶりの火星大接近があり、土星の環も最大に開いた状態になっています。木星や金星も日没後の空に見えていて、今年の夏は、西から東へ黄道に沿って夏の夜空に惑星が勢揃いをしていますから、大勢の来台が予想されます。新しい望遠鏡はそれらの人々を大いに楽しませ、感動させてくれることでしょう。

課題は多いけれど

熊本地震で被災したあと、なかなか元通りの運営に戻っていない状況です。天文台を支えている会員や運営委員の1人1人にもいろんな問題が次々に発生していて、のびのびと思通りに活動できる状態ではありませんが、限られた人的資源をうまく活用しながら、地域社会のニーズにできるだけ応えようと努力を続けている毎日です。

新しい望遠鏡の導入など楽しい話題をきっかけにして、新しい力も獲得しながら、また一歩前進していきます。

皆さん方の応援・ご協力を待ちしています。



出張観察会用の望遠鏡 を 改良中

2インチClicklock（SYNTAアクロマート屈折用）を導入

☆☆☆ 接眼部の緩みを防止できて、観察会で活躍すると期待! ☆☆☆



出張して開催する「星の観察会」では、12cm屈折と大型のアイピースの組み合わせが大活躍しています。でも、2インチ天頂ミラーと大型アイピースを組み合わせると、その重さが半端ではありません。子ども達の目の高さに合わせようと「横向き」にすると、カクッとゆるんでしまうことが多くて困っていました。細い止めネジではなかなか保持できないのです。そ

こで、クリックロックを導入してみました。うまく活躍してくれるでしょうか?この夏が楽しみです。

☆☆☆☆☆☆ これからの予定 ☆☆☆☆☆☆

- ★ 5月4日（金、祝） 城南公民館講座 19：30 ～ 21：30
「春の星空観察」
内容： 金星、春の星空（遠くの銀河）、そして、木星
- ☆ 5月13日（日） 熊本県民天文台 総会 （予定）
- ★ 6月 （期日は未定） 新しい望遠鏡が完成・設置
- ★ 6月24日（日） 新しい望遠鏡の贈呈式（計画中）
ライオンズクラブから県民天文台へ寄贈されます
- ★ 7月31日（火） フィールドミュージアムへ飛びだそう!
「火星大接近!」 観察会
15年ぶりの火星大接近、金星・木星・土星も見える!
- ★ 9月17日（月、祝） フィールドミュージアムへ飛びだそう!
「半月の観察と撮影」

2017年アメリカ皆既日食④

ワサモンの備忘録より

Porco Nisse



昼食を兼ねて立ち寄った所は間欠泉で有名なカイザー・カントリーだ。メインのオールド・フェイスフル・カイザーは噴出を終えたばかりのようで、次の噴出までの間片山氏と木道を歩いた。ここは大きなカルデラの中で、大小無数の間欠泉が存在している。すぐ目の前の小さな穴から突然お湯が噴き出したりする。なかなか楽しい所だった。ただ、オールド・フェイスフルの噴出は期待外れだった。

ここでの昼食は和食レストラン、出てきたものはとても和食とは言えない代物で、名付けてインチキン丼・・そうそう吞兵衛には伝えておかねばならないことがあった。アメリカの地ビールはまずい！

再びバスに乗り、向かったのは南ゲート経由でのグランドティトン国立公園だ。ここは古い人には映画シェーンの舞台といえはお分かりか。このセリフは今の若い人には通じるのかな？「シェーン、カムバック」

グランドティトン公園に入ると天気が悪くなってきた。やはり山の天候は変わりやすい。夕立(!?)の中。バスはジャクソン・シティへと向かった。ジャクソンはカウボーイの町が売り物だ。ということで夕食はカウボーイ・レストランとなる。幌馬車隊を模した馬車列で山間の食事処に向かう凝った趣向が売りのようで、移動中に強盗やインディアンの襲撃があったりする。食事後雨上がりの西空に若い月が見えた。ジャクソンは面白そうだったので、自由時間がとれなかったのは残念だった。



★観光旅行その2

この日のメインはスネーク川下りだ。ジャクソン・ホールと呼ばれる広大な谷間を流れるスネーク川の兩岸は壮大な河岸段丘になっている。さわやかな川風の中、大きなゴムボートはゆっくり下る。遠くに見えるグランドティトンの山並みはやはり絶景だ。積雲が点在する青空の中、近くに空港があるので、時折上空を飛行機が通過する、自然を楽しむには興ざめだが飛行機好きには楽しい眺めだ。川岸の動植物にも期待したのだが、これはちょっと淋しかったかな。でも川下りは良かった。

川下りの後の昼食はドライブインで大きなバイソン肉のバーガー、何事もチャレンジと完食。この後バスは広い農園地帯をひたすらソルトレイクシティ向かって走る。ワイオミング州からアイダホ州そしてユタ州、広い国だなと思った。ソルトレイクに着いた時にはもう日が暮れていた。

やっとまともな夕食にありついた感じがする。アメリカらしくニューヨーク・ステーキだ。アメリカのアルコール飲料には疑いを持つようになって酒抜き食事にした。

後は帰るだけ、空港近くのホテルで少し熱っぽく咳が出るのを気にしながら眠りについた。



▲川下りの絶景

▲熊本グループの集合写真

★帰国の途

帰路はソルトレイク空港で出国となるようで、厳重なセキュリティ・チェックを受けた。でも、出国係官の手続きはなくて、私のパスポートには出国のスタンプがない。なんだか淋しい。これ良いのかなあ。成田行きの出発地はシアトルタコマ空港だ。実はここで出国手続きがあるものと思って行動したら迷子になってしまった。どこにも他のメンバーがいないのだ。乗り損なって異国に一人取り残されるのも面白いけれど面倒だな。どうしようか。ふと出発便の電光表示板が目に入った。成田便はないかなと探すがない。凄い数の発着便が小さな文字で表示されているのだ。どこかに表示はないかとゆっくり再度最初から見ていくと、あった！TOKYO/NARITAの表示だ。出発ゲートはS16の表示、ここはBターミナルだからS(サテライト)ターミナルへ行かねばならない。地下鉄のようなシャトル便トラムに乗ってSターミナルに行くとビンゴ、無事デルタ便の搭乗ゲートに行き着けた。やれやれ。チケットには搭乗ゲートが記入されていない。当日にならないと分からないものらしい。

成田空港には15時半に到着。入国手続きに向かう途中、今度は検疫検査官に呼び止められた。「体温が高いですね、どうかされましたか？」体温計は37.5度を表示していた。どうりで体調がおかしいはずだ。帰ったら医療機関で診察を受けるようにと指導されてしまった。とんだアメリカ土産を買ってきたモノだ。帰宅後は39度の高熱になって動けなくなるというとはほなオチで旅は終わった。

☆☆☆☆ ちょっと一服

Poem & Illustration

雛の節句が過ぎ、啓蟄も過ぎて、いよいよ本格的な春です。台風並みの春一番やら、5月並みの陽気やらもやってきましたが、暖かさと寒さを繰り返すこの頃。ただ、その寒さも、熊本では、雪や霜、ましてや水道管の凍結などとは無縁な感じです。

さて、金星が西の空に移りまして、夕方観望の季節に入りました。まあまだ低いんですけどね。お天気良ければ水星（16日に東方最大離角）とのツーショットが楽しめます。19日には、金星・水星に細い三日月が加わって撮影のチャンス。木星もてんびん座で輝きを増していますし、4月2日には、夜明け前の南東天で、いて座の火星と土星の接近も。M22と一緒に撮ったら面白いだろうなあ。でも満月過ぎの明るい月が…3月下旬から天気の良い日に連続して撮っておいたほうがいいかな？（ずっと雨だったりして）
なあんて私の思惑をよそに、北の空ではおおぐまが主役を主張しております。



春のうた

雨が降っている
庭が
一斉に色をまとい始める

みどり みどり みどり それから
ハコベホワイト ナズナホワイト
ハハコグサイエロー タンポポイエロー
ホトケノザピンク カラスノエンドウピンク
スミレヴァイオレット カキドオシパープル
ルリハコベブルー キュウリグサブルー

フラサバソウの薄紫
みんな空に舞い上がって小さな星になれ

夜 雲の上では
とりどりの色をもった小さな星の草原を
大きな熊が歩き回る
異様に長い尻尾を振りたてて

(違うよ あれはひしゃくだよ
ずっと空から水を振り撒いてるじゃないか)



By Dio

2018年2月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 2日／4日＝50％
一般来台者数 10名

総開台日数 3日
会員来台数 4名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
1 3 日 (火)	晴	艶島	1 人	博物館ネットワークセンター 黒田さん フィールドミュージアム事業（平成30年度） スケジュール等について打ち合わせ
1 7 日 (土)	快晴	高田	4 人	シリウス、ベテルギウス、リゲル、M42、M41、M46、シシィ、星座解説 カノープスがよく見えました。
2 4 日 (土)	晴のち曇り	中島 艶島	3 人 (2人)	月、シリウス、ベテルギウス、M42 雲がかかりぼんやりとした空。月も霞んだりよく見えたりとなかなかめまぐるしい！！ 月の撮影や観望などなかなか楽しんでもらえました。 もう一組のお客さんは子どもさんが車の中で寝てしまったのであきらめて帰られました。

カメラのけられ

望遠鏡をε-180EDに変えてから一番困ったことが、撮影した画像にケラレが出てしまうことだ。カメラのミラーボックスが小さくて、特にシャッター部分で光路にケラレが起きる。その結果、撮影した画像の下の方に黒い筋のようにケラレが写ってしまうのだ。周辺減光などもあるのでフラット画像を撮るのだが、これがなかなか上手くいかない。冷却CCDでは結構上手くいくのだが、デジで撮るとすばっと決まったためしがない。

仕方なくトリミングしてごまかしてきたのだが、せっかくの広視野も2／3ほどしか活用していない有様だった。鏡筒が短いので取り回しが楽で良かったのだが、とうとう今年も鏡筒交換となった。

とにかくF値が明るいほどケラレが目立つので、F2.8のイプシロンからF6のニュートンに換装。周辺減光は相変わらずだがケラレは格段に目立たなくなった。しばらくはこれでいってみようと思う。しかし、F4でもそれほど目立たなかったなので、その辺を目指し

てみてでもいいのかなと思う。しかし、500mmと1200mmでは写野がこんなに違うのかと、改めて見ると驚いた。さあて何かいい方法はないものか・・・！

ε-180ED
500mm F2.8
KissX5改
ISO800 3分

画面下の方に黒くケラレが分かる



笠井 銀次
D:200mmf1:1200mm
F6
KissX5改
ISO1600 5分

画面上の方に少しケラレが見られるが、余り目立たない。



ε-160 F3.3
KissX3改
ISO-800 総露出20分
LPS-P2フィルター使用

画面下の方にケラレが見られるが、余り目立たない。



今年の桜、冬が滅茶寒かったお陰で休眠打破が順調に進み、花芽の目覚めも早いようです。開花予想は熊本で3月19日。トップは高知の3月17日と、今のところ全国で2番目。どうにかして1番を取れないものかと、モヤモヤしています。2番でも3番でも良いじゃないかと言われる方もおられるでしょうが、1番が良いのです。後10日もしないうちに、桜が咲きます。楽しみですなあ。(*^_^*)

☆ 4 月の天文現象 & 行事 ☆

- 1 日 (日) 水星が内合 (10:07 5.1等 視直径11.2")
- 2 日 (月) しし座Rが極大 (4.4~11.3等 周期310日)
- 5 日 (木) 清明(せいめい…春の日射し強く、全てのものが清く澆刺としてくる時期)
- 8 日 (日) 夜明け前の東天で、月と土星、火星が接近 下弦 (16:18)
- 14 日 (土) トークアバウト (20:00~ 変更の場合あり) 水星が留(12:51)
- 15 日 (日) 冥王星が西矩 (03:48)
- 16 日 (月) 新月 (10:57)
- 18 日 (水) 夕空で、月と金星が接近 土星が留 (10:35)
- 19 日 (木) 天王星が合 (04:12 5.9等 視直径03.4")
- 20 日 (金) 穀雨(こくう … 春の雨が穀物を潤す時期)
- 23 日 (月) 4月こと座流星群が極大 上弦 (06:46)
- 25 日 (水) 金星とプレアデス星団が接近
- 30 日 (月) 水星が西方最大離隔 (03:24 0.5等 視直径08.0") 満月 (09:58)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2018年4月号 通巻517号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで